

## 目次

序	
すいせんのことば	
1. 鉄道人身障害	1
1の1の話 「触車事故」から学ぶこと	2
1の2の話 「触車事故って？」	5
1の3の話 マルタイ作業時に触車発生	8
2. 運転支障	11
2の1の話 「なすべき安全ルールを怠った」事故	12
2の2の話 ああ勘違い	15
2の3の話 線路上にダンプが	18
2の4の話 “ネコ車”が列車にはねられた	21
2の5の話 落ちる！	24
3. 保安装置故障	29
3の1の話 人の記憶はいつかは途切れる 懸案事項は常に整理しよう	30
3の2の話 「掘削中になにかが……」	33
4. 送電故障	37

4	1	話	信じられない事故	38
4	2	話	事故例から学ぶこと	40
4	3	話	「トロリー線接触事故」からの教訓	43
4	4	話	トラッククレーンのブームがトロリー線に接触	47
5			列車脱線	51
5	1	話	事故防止について考えること	52
6			線路故障	55
6	1	話	朝ラッシュ時間帯のレール折損事故	56
6	2	話	「魔の13日の金曜日」の出来事	59
6	3	話	真夏の冷や汗	62
6	4	話	苦い経験から思い出されるRYG	65
7			保守用車衝突等	69
7	1	話	「思い込み」を防ぐ基本動作	70
7	2	話	トロリーに列車が衝撃	73
7	3	話	保守用車事故に思うこと	76
8			部内その他	81
8	1	話	線路閉鎖作業遅延で確認車に支障し復旧作業	82
8	2	話	仕業点検と事後措置	85

8の3の話	すべては安全・安定輸送のために	88
9. 待避遅延		
9の1の話	忘れられないあの日	92
9の2の話	あわや“待避遅延”	94
9の3の話	間一髪触車を免れた	97
9の4の話	「もたれあい」のあいまいさ	99
9の5の話	若年鉄道員の事故経験から	102
9の6の話	自分の身は自分で守る	105
9の7の話	役割分担の明確化が「要」	108
9の8の話	待避不良に思うこと	111
9の9の話	あわや触車事故（待避不良発生）	114
9の10の話	対策の周知洩れは事故発生に結びつく	117
9の11の話	私の過去の「事故・災害」時におけるリーダーの教訓について	120

10. 労災事故		
10の1の話	ロングレール取卸しでレールがはねた	124
10の2の話	バックホーのバケットが作業員に	127
10の3の話	感電事故	130
10の4の話	不幸中の幸いからの反省	133

10の5の話	高所からの墜落による教訓	135
10の6の話	爺様の叫び	139
10の7の話	バックホーが隣接線貨物列車と衝突	142
<b>11. 保守用車故障等</b>		145
11の1の話	携帯電話が鳴る	146
11の2の話	神様に救われた奇跡	148
11の3の話	ある電話	151
11の4の話	事故の芽	154
11の5の話	指示伝達の重要性	157
11の6の話	「身についていない」基本動作	158
<b>12. 交通事故</b>		163
12の1の話	交通事故撲滅	164
12の2の話	「かもしれない」運転	167
<b>13. その他</b>		171
13の1の話	天候の異変	172
13の2の話	「最後の最後に……」	175
13の3の話	事故・災害から学ぶ	179
13の4の話	一歩間違えたと火の海だ	181

13の5の話	勘違いの恐ろしさ	184
13の6の話	余裕を持った計画が第一	186
13の7の話	「安全装置」	189
13の8の話	軽作業に潜む事故	192
13の9の話	「停める勇気と通す勇気？」	195
13の10の話	お客さま最優先の事故復旧を目指して	198
13の11の話	10年前のこと	201
13の12の話	最近の事故で思うこと	203
13の13の話	生コン車でケーブル損傷	206
13の14の話	真冬・真夜中の大汗	209
13の15の話	PKYによる安全の先取り	212
13の16の話	あわや感電事故	215
13の17の話	災害応急工事中に軌陸ダンプトラックの墜落	218
13の18の話	あつ、レールが逃げる	221
13の19の話	事故に付ける薬	224
13の20の話	天災は、忘れた頃にやってくる！	227
13の21の話	再発防止の「意識」と風化防止の「制度」	230